

『免疫チェックポイント阻害剤の抗腫瘍効果に及ぼす 抗菌薬および遠隔転移の影響』

【目的】免疫チェックポイント阻害剤であるオプジーボ[®]やキイトルーダ[®]、テセントリク[®]、イミフィンジ[®]は、免疫機能へのブレーキを解除することで、がん細胞を攻撃する免疫細胞の働きを維持するお薬です。しかしながらその効果は、様々な要因によって弱くなってしまっていることが知られています。そこで今回、当院で免疫チェックポイント阻害剤による治療を受けた患者さんを対象として、効果が弱くなってしまっている要因を調べます。

【期間】承認後～2020年9月

【方法】

＜対象となる患者さん＞

2016年5月～2019年12月までに、当院でオプジーボ[®]やキイトルーダ[®]、テセントリク[®]、イミフィンジ[®]による治療を受けた方

＜研究に用いる試料・情報の種類＞

試料：無し

情報：血液検査、CT 検査等

◎研究への参加について

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、遠慮なく研究責任者にお伝えください。たとえお断りになっても今後の治療において不利益を受けることはありません。

この研究について、心配なことや、わからないことがあれば、いつでも遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産権の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター

〒573-8511 大阪府枚方市星丘 4-8-1

TEL (072) 840-2641 (代)

所属・職名 薬剤部 ・ 薬剤師

研究責任者 貝野 裕也